

『戦争する国づくり』

STOP

危険な軍事一体化に
を

米軍レーダー基地(京丹後市経ヶ岬)

米軍関係者交通事故 1年以上公表なし

住民との約束違反 府知事も「遺憾」

米軍関係者の交通事故が住民の大きな不安となっている経ヶ岬の米軍レーダー基地。事故の状況については「速やかに連絡する」とされていたものが、昨年2月以降1年以上報告されていません。京都府議会での共産党議員の追及に西脇知事も「遺憾」と答弁せざるを得ない事態です。「京都に米軍基地はいらない」の声が広がっています。



米軍関係者による交通事故件数 2/17「京都市報」より

年度	2018年度	17年度	16年度	15年度	14年度
事故件数	?	16	17	11	14



自衛隊部隊(福知山駐屯地)が
米海兵隊オスプレイで
「敵地」強襲・制圧
共同訓練

◀オスプレイの横で展開する自衛隊部隊
(写真:京都市報社提供)

「専守防衛」はどこに

米国とともに「戦争する国」づくりを進める安倍政権のもと、府内で米軍と自衛隊との一体化が急速に進んでいます。2月4日から滋賀県饗庭野(あいばの)演習場で行われた日米共同実動訓練では、福知山駐屯地の自衛隊部隊が米軍のオスプレイに乗り込み、米海兵隊とともに、敵陣地への侵入作戦を訓練しました。日本共産党京都府議会議員団は強く抗議しています。

ダメです!!

首相9条改憲発言

自衛官募集名簿提供

狙いは

若者の名簿を 召し上げること

強制的に



▲響庭野(あいばの)演習場での日米共同実動訓練(写真:京都民報社提供)

自衛隊への名簿提供別市町村数 (2017年度)

区分	紙媒体等での提供		閲覧による提供	未取得
	うち電子媒体提供	うちシール提供		
提供市町村数	632	14	931	178

2/17 「しんぶん赤旗」より

安倍首相は「6割以上の自治体が自衛官募集に非協力的だから憲法9条改正が必要」と発言し大問題になっています。ところが、防衛大臣は「全くの非協力は5自治体」と述べており事実と違います。また、法令(自衛隊法施行令第120条)では、防衛大臣が、自治体に対して、自衛官募集に関し、紙媒体などで適齢者名簿などの『資料の提出を求めることができる』——要請ができるとあるだけで、これに自治体が応じる義務は規定されておらず、自治体が名簿提出に応じないからといってけしからんと非難することは許されません。

安倍首相の発言は、憲法9条改憲で、青年の名簿を強制的に召し上げる企図を露骨に示したものであり、許せません。

京都市
では

18歳・22歳の名簿をシールで自衛隊に提供方針「勝手に個人情報を読まないで」と市民から批判相次ぐ

日本共産党府会議員団は、京都府が市町村に対し、該当の青年名簿の提供を強要することのないように議会でも追及しています。一方、京都市では2019年度から、18歳と22歳になる市民の個人情報を全国4自治体だけの「宛名シール」で提供する方針です。これに対して高校生も含めて「個人情報の提供停止」の請求が相次ぎ、市民団体の抗議が行われた結果、京都市は「提供停止」を請求した人の個人情報を宛名シールから除外することを発表しました。